

【決算ハイライト】

- ・2014年度上期決算は、経常利益が対前期比+313百万円と大幅改善。複合ソリューション事業の拡大及び鉄鋼向け事業の収益力改善が寄与した。子会社の対前期比での売上減は前年度にWindows 関連の特需があったためだが、JFEスチール・グループ会社向け事業と外販事業の増収が大きく、それぞれが収益力を改善させた結果、増益となった。
- ・通期業績見通しは、前回から変更なし。通期売上高を対前期比で比較すると、子会社では減収だが、JFEシステムズ本体でカバーし、売上高360億円、経常利益15.2億円を目指す。

【質疑応答】

Q. 上期の収益改善は何が要因か。

A. パッケージ商品を組み合わせてお客様に提供する複合ソリューションを拡大することができた。これは従来型のスクラッチ開発と比べて効率が良いことから、収益につながっている。もう一つは鉄鋼の開発案件の大型化。昨年までは、小規模な改善案件が多く、効率を上げられなかったが、今期は大きなプロジェクトに対して、効率的に取り組むことができた。

Q. 外販ビジネスでの自動車業界に次ぐ新たなターゲットは。

A. 鉄鋼業の子会社という当社の強みを活かして、素材型製造業への取り組みを強化したい。

Q. 上期増益に対し、通期は据え置き。固めに見通しているように見える。

A. 上期の増益要因は、下期に見込んでいた高収益案件が前倒しになったという側面が大きく、通期での状況に変わりはない。年度の計画に向けて順調に進捗していると理解して欲しい。

以上